

そうせい

9

2025

医療法人社団 綾和会 掛川東病院 桔梗の丘 広報誌

No.30



contents

特集

- **FOCUS** “忙しい”の正体と向き合った5年間
入院生活に「楽しみ」という刺激を
- 「東病院のひとこま」で2か月間の出来事を振り返り

FOCUS

人や取り組みにスポットライトを

“忙しい”の正体と向き合った5年間 多職種対話が生んだ職場改革と患者様ケアの変化

病院で交わされる“忙しい”という言葉、その裏には“患者様のために”という共通の思いがありながらも、立場の違いからすれ違ってしまうことがありました。高齢化が進み、認知症や重症の患者様が增える中で、これまで以上に工夫や連携が求め



入院生活に“楽しみ”という刺激を

“楽しみ”が“意欲”に変わる。行事委員会の地道な取り組み。



東病院では、開院当初から「行事委員会」を設け、患者様に季節の行事を楽しんでいただく取り組みを続けています。入院生活では外部との交流が限られ、療養やリハビリへの意欲が低下してしまうこともあります。そこで、患者様同士や職員とのふれあいの場を設け、楽しみを通じて心の活性化とリハビリのモチベーション維持を図っています。主な行事として、春にはお花見や新茶会、夏は納涼祭、秋には特別支援学校の学生と協働した作品展（展示と鑑賞）を実施し、季節を感じることで鑑賞回数を与え、認知機能の維持や向上につながるだけでなく、患者様自身の「やってみよう」「行ってみよう」といった意欲を引き出すきっかけとなっています。たとえば、お花見では病院の外に出て、普段歩かない道を歩くことが運動機能の向上に、新茶会や納涼祭では、飲食を楽しみながら自然と交流が生まれ、自発的な行

動を促します。作品づくりでは豊かな作業や集中方がめられ、手先や目の刺激にもつながります。行事は、リハビリのものにも良い影響を与える工夫がちりばめられています。行事の実施には現場職員の協力が欠かせません。誤傷や転倒のリスクを最小限にするために、当日は患者を増やし、安全面にも最大限の配慮を行っています。準備や運営にも多くの人手が必要ですが、「どうすれば患者様やご家族に喜んでいただけるか」を第一に、スタッフ一人一人となって取り組んでいます。行事委員会は、患者様にとっての「日常に彩りを添える存在」でありたいと願っています。今後も、安全と楽しさを両立しながら、療養生活に前向きなエネルギーを届ける行事を企画・実施してまいります。

られるようになっていきます。そこで私たちは、職種の壁を越えて「対話」を重めました。これまで患者様の安全を第一に考えるあまり、必要以上に慎重な対応を取ることもありました。対話を通じて「安全に動ける環境を整えること」を大切にする考え方へと変化しました。その結果、患者様がより自由に、安心して過ごせる時間が増えました。また、リハビリスタッフと協力したレクリエーションを取り入れるなど、患者様の笑顔を引き出す工夫も広がっています。当病棟は地域包括ケア病棟として、限られた入院期間の中で退院後の生活を見据えた支援にも力を入れています。デイサービスやデイケア、訪問リハビリなど地域のサービス利用を想定し、活動量を維持するための時間確保や、入院による体力低下に配慮した日常支援を行っています。「退院したその日から安心して暮らせること」をゴールに、多職種で協働しています。これからは、地域の皆様と安心していただけるよう、わかり合い、支え合う関係づくりを進めてまいります。



特別支援学校からの贈り物

生徒が手作りした作品を当院に寄贈いただきました。当日は当院で働く特別支援学校の卒業生が受け取りを行い、在校生と卒業生との交流の場にもなりました。



東病院の ひとこま



参加型ボランティアで リフレッシュ

歌って、踊って、ヨガをして。多様なボランティアさんのおかげで、病院が賑やかで明るい雰囲気になりました。



栄養士からの塩分講座

摂川市主催の茶のみやカフェにて、当院の管理栄養士が塩分講座を行いました。クイズ形式で、思いもよらない食品の塩分の高さに驚く参加者も。当院では、今後も地域の方向けに健康講座を行っていきます。





掲載

掛川東病院正面玄関前
地域の方もお越しください!

9月19日(金) 11時半~14時



美味しいMICH!

野菜いっぱいのお肉のチャーシューや、大きくてジューシーなからあげ、おひとつからお高いお肉も出てます。

COREM

本格エスプレッソマシンで淹れた淹れたての香り高いコーヒー。

10月24日(金) 11時半~14時



NAGATAYA sweets

小さな子供から安心して食べられる、ほっとする美味しさがコンセプトの優しいおやつ。

COREM

本格エスプレッソマシンで淹れた淹れたての香り高いコーヒー。

どっだん とは?

「仕事に楽しさを」毎月、職員や近隣事業所向けに開催されているイベント。
美味しい飲み物や食べ物を用意、気軽に話することができるきっかけ作りを目的としています。

希望の丘マルシェのテーマは「つながり」です。マルシェをきっかけに新たなつながりを生み出し、医療機関と住民が一体となり、地域を支え合う文化を育むことを目的としています。今回で3回目の開催となり、多くの方からご期待の声をいただいております。当院は「コミュニティ・ホスピタル」として、病気のときだけでなく健康なときからも地域住民を支え、安心して暮らせる社会の実現を目指しています。本マルシェは、希望の丘事業所や医療・介護施設、地域団体、そして住民の皆さまとつながりを深めていく、大切な取り組みの一つです。

希望の丘
マルシェ



希望の丘マルシェ実行委員長

市川 真



掛川東病院 院長

宮地 絳樹

地域での活動を重ねるなかで、病院を訪れる方々の表情や、病院の外で交わす会話から、新たな関わりやのびのびを感じるようになりました。年間で1万人以上の方が関わり、連携する仲間も100事業所を超えています。病院は「医療の場」を超えて、人と人が出会い、学び合う地域のハブへと姿を変えつつあります。これからも医療の枠にとらわれず、市民の生活に寄り添い、健康と安心の基盤を築いていきたいと考えています。

9.28 (日)
10:00-14:00
掛川東病院 希望の丘
マルシェ開催

お問い合わせはお気軽にどうぞ!

地域を支える 仲間募集

掛川東病院では医療介護を通じて地域の皆様が安心して暮らせる環境を一緒に作る仲間を募集しています!



まずは見学でもOK
お気軽にお問い合わせください
☎ 0537-23-7111 (寺島)

Instagram

当院の取り組みやイベントを随時更新中。
医療現場の日常をお届けしています。



回復期リハビリテーション病棟
診療実績 (令和7年7月)

新規入院患者に対する 重症度割合	58.1%
重症患者でFIM15点以上 改善している割合	68.0%
在宅復帰率	85.4%
アウトカム評価 (実績指数)	55.6
患者1人あたりの 提供単価	6.9
患者構成	
脳血管疾患	51.5%
運動器	42.0%
高齢者医療群	6.5%



医療法人社団 駿和会

掛川東病院

〒436-0030
静岡県掛川市杉谷南1丁目1-1

☎ 0537-23-7111
☎ 0537-23-7116

